

# 築館高等学校一迫商業キャンパス

校訓 誠実・自律・奉仕



## 1 基本データ

創立：令和7年  
 課程・学科：全日制課程・情報ビジネス科  
 生徒数：47名  
 所在地：〒987-2308  
 栗原市一迫真坂字町東133番地  
 TEL：0228-52-4112  
 FAX：0228-52-4111

ホームページアドレス：  
<https://ichisho-ca.myswan.ed.jp/>  
 電子メールアドレス：  
 ichisho-ca@od.myswan.ed.jp  
 主な交通機関：  
 栗原市民バス 花山線一迫商業高校前

## 2 学校の特徴

### キャッチフレーズ

#### 学びたいが ここにある

一迫商業キャンパスが目指すのは、「地域に学び、地域を創る」実践的な学び舎です。これからの社会で必要とされるのは、未来を描く「想像力」と、それを形にする「創造力」。情報ビジネス科での学びを通して、「情報の力」で地域課題を解決し、新しい価値を生み出す人材を育成します。生徒が主役となり、地域全体をフィールドにして学び合う。そんな「学びたい!」という意欲で溢れた活気ある学校を、生徒と共に創り上げていきます。

### (1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

大正13年3月、一迫町立一迫実科高等女学校として開校し、その後一迫高等女学校、宮城県築館高等学校一迫分校となり、昭和48年4月に独立開校。平成6年度、商業教育の専門性を高めるために学科改編をおこない、流通経済科、会計科、情報処理科の3学科(男女共学、学科別募集、推薦入学制有り)となりましたが、少子化の影響で会計科の募集を停止し、平成23年度から流通経済科、情報処理科の2学科となりました。

そして新たな歩みとして、令和7年度より「築館高校一迫商業キャンパス」として開校しました。情報ビジネス科として「情報の力で地域を創る人財」を育てる教育課程を編成し、次世代を見据えた教育内容を展開します。地域社会の人々の期待を担いながら、産業経済の振興発展に寄与する有為な人財の育成を目指しています。

### (2) 教育方針

「誠実・自律・奉仕」をキャンパス校訓とし、新しい時代における産業・経済社会を担う者として欠かすことのできない教養・知識・技術を十分に身に付け、強靱な身体と不屈の意志を育てることを目標としています。

また、地域に愛され、地域に信頼され、地域になくってはならない学校を目指し、校訓「誠実・自律・奉仕」の精神を身に付け、地域社会を担うことのできる有為な人材を、商業教育を通して育成しています。

### (3) 教育課程の特色

#### <情報ビジネス科>

#### 情報を活用し、地域社会に貢献する「ローカル・プロデューサー」の育成

本学科では、情報を活用し、地域社会に貢献するための知識や技術を総合的に学びます。地域の課題解決や魅力発信に向け、情報とビジネスの両面からアプローチし、地域のつながりと経済をデザインする「ローカル・プロデューサー」人材の育成を目指します。カリキュラム・マネジメントの視点を重視し、各科目の学びを有機的に結びつけた実践的な教育を展開します。

「情報」分野では、情報処理やプログラミングなどの基礎知識で論理的思考力を養い、「ソフトウェア活用」や「ネットワーク活用」を通じてデジタル技術を実践的に用いるスキルを磨きます。データの分析・活用や、デザインツールを用いた「人を動かす」視覚的な仕掛けづくりなどを通して、情報技術を実社会で効果的に活かす力を育成します。

「ビジネス」分野では、観光ビジネス等を通じて地域経済の仕組みを学ぶとともに、学校設定科目「地域デザイン」や「総合的な探究の時間」を活用し、学びのフィールドを地域へと広げます。

「総合的な探究の時間」では、1年次で地域に対する問いを立て、2年次で多面的に魅力や課題を調査し、3年次で地域に向けた提案や発信を行うという3か年計画で系統的な学びを深めます。さらに「地域デザイン」において、商業デザインによる集客・消費の促進と、コミュニティデザインによる持続可能なまちづくりの両輪を回すことで、身につけた知識を地域課題の解決に直結させます。

本学科では、情報技術とビジネスの知識を融合させ、単なる技術習得にとどまらず、主体的に地域と関わり、新たな価値を創造できる人材の育成に取り組みます。教室での学びを地域での実践へとつなぎ、自ら考え、行動することで、次世代の地域を創り出す力を育みます。

### (4) 行事・生徒会活動・部活動

本校では、複数の部活動に所属して自らの可能性を広げることができる独自の取り組み「キャリアアクティビティ」を導入しています。部活動は大変盛んで、令和7年度はワープロ部が全国大会出場および東北大会で好成績を収めたほか、商業研究部が県大会3位、運動部でも弓道部が東北大会へ出場するなど、

素晴らしい実績を残しました。ソフトテニス部やバドミントン部といった運動部も日頃から積極的に活動し、活気に満ちています。また、生徒会活動では、地域のゴミ清掃や花壇の整備に加え、地域イベントへのボランティア参加など、地域社会と連携した活動に取り組んでいます。文化祭や体育祭などの学校行事も、生徒が中心となって大いに盛り上がり、充実した学校生活を送ることができます。

### (5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)  
 ※一迫商業高等学校の実績より

進路	R7	R6	R5
大学	1	2	2
短期大学	3	1	0
専各学校	8	10	15
就職(県内)	6	15	11
就職(県外)	6	3	2
その他	2	2	0
卒業生計	28	33	30

主な進路先(令和8年3月卒業生)、  
 ( )内は人数 (1)は省略。

#### <私立大学>

東北学院大学 経営学部経営学科 (1)  
 仙台赤門短期大学 看護学科 (2)  
 宮城誠真短期大学 保育科 (1)

#### <専修各種学校>

東京ITプログラミング&会計専門学校(4)  
 宮城調理製菓専門学校 (1)  
 仙台デザイン&テクノロジー専門学校(1)  
 仙台リハビリテーション専門学校 (1)  
 総合学園ヒューマンアカデミー (1)

#### <就職(県内)>

株式会社北光 (1)  
 有限会社パレット (1)  
 株式会社東北イノアック 築館工場 (1)  
 株式会社栗駒ポーター (1)  
 東北紙工株式会社 (1)  
 朋和産業株式会社 仙台工場 (1)

#### <就職(県外)>

株式会社ヤマダデンキ(県内勤務1)  
 モリタ宮田工業株式会社(管内勤務1)  
 一関信用金庫(管内勤務1)  
 株式会社U-NEXT HOLDINGS(県内勤務2)  
 株式会社ハイレックスコーポレーション 柏原工場(1)

#### <その他>

自衛隊 一般曹候補生 (1)

### 3 学校魅力発信

#### (1) 本校生徒の活躍

##### 栗原版デュアルシステム

「栗原版デュアルシステム」は、地域産業との密接な連携・協働を通じて、生徒の実践的な職業能力を育成し、将来の地域社会を牽引し貢献できるプロフェッショナルな人材を輩出する本校独自の取り組みです。1学年から3学年まで、発達段階に応じた体系的なキャリア教育を構築し、教室での学びと地域社会での実践を往還させることで、変化の激しい社会を生き抜く力を養います。

企業実習：地域の協力企業において、年間を通じた継続的な就業体験を行います。生徒が実際の業務に深く関わることで、社会人としての責任感やマナー、現場で求められる実践的な職業スキルを確かなものにします。

販売実習：地域イベントや本校主催の販売会において、商品計画から仕入交渉、接客、会計に至る一連のビジネスプロセスを実践します。さらに、地域企業と連携した「ECサイトの共同運営」に取り組みます。現代のビジネスに不可欠なデジタルマーケティング手法を実践的に学ぶとともに、地域商品の魅力発信・販路拡大を通じて地域振興に直接貢献します。

起業家研究：地域の顕在的・潜在的な課題を生徒自ら探究し、その解決に向けたビジネスプランを考案します。机上の提案に留まらず、地域の関係団体と協働して解決策を社会実装（実践）することで、地域社会に新たな価値を創出し、次世代の地域リーダーとしての資質を養います。

これらの取り組みを通じて、生徒は地域社会との多面的なネットワークを構築しながら、自ら課題を発見し解決する「実践的な職業能力」を身につけます。同時に、地域企業との協働によるECサイト運営や課題解決学習は、地域社会への還元や地方創生にも直結するものであり、学校と地域が一体となった持続可能な教育モデルの実現につながります。



<企業実習>



<販売実習>



<起業家研究>

##### 地域連携

生徒主体による地域貢献活動として、地域のごみ清掃や道路の花壇整備をはじめ、介護施設でのボランティア活動、地域イベントへのボランティアスタッフ派遣などに積極的に取り組んでいます。こうした学校外での実践的な活動や多世代との交流を通して、地域社会とのつながりを深めながら、社会で役立つコミュニケーション能力や地域へ貢献する意識を育てています。



#### (2) 主な学校行事

- 4月 始業式、入学式、対面式、PTA 総会
- 5月 春季生徒総会
- 6月 第1回評価期間スポーツフェスティバル①
- 7月 2学年インターンシップ①、三者面談、オープンキャンパス①
- 8月 就職達成セミナー
- 9月 第2回評価期間、外部講師面接
- 10月 文化祭、オープンキャンパス②、生徒会役員選挙
- 11月 第3回評価期間、2学年インターンシップ②、秋季生徒総会
- 12月 スポーツフェスティバル②、2学年修学旅行
- 1月 栗原版デュアルシステム学習報告会、検定補習期間
- 2月 第4回評価期間、同窓会入会式
- 3月 卒業式、修業式、離任式

#### (3) 学校制服紹介（例）

ブレザータイプの制服です。

スラックスを着用する場合はネクタイ、スカートを着用する場合はリボンを身に付けます。

今年度よりウォッシュアブルの生地に変更しました。

※女子用スラックスもあります。



#### (4) 本校生徒の活動の様子



探究発表会



学習報告会



体育祭



文化祭



まちづくりコンテスト



地域連携

### 4 在校生からのメッセージ

本校ではビジネスや会計について広く学び、社会の見方が大きく変わります。私は特に「簿記」に力を入れていますが、放課後や休日でも、先生方が個人のペースに合わせて丁寧に教えてくれるので安心です。また、Excel などパソコンの実践的なスキルを身につけていくのもとても楽しいです。

教室での学びだけでなく、「地域デザイン」の授業で地域の活性化について学んだり、ボランティア活動を通して地域の方々と交流したりする機会も豊富です。こうした地域連携の経験は、コミュニケーション能力を鍛え、人間性を大きく成長させてくれます。

もちろん学校行事も充実しており、文化祭で仲間と試行錯誤して模擬店を創り上げたことは貴重な体験です。ユーモアがあり、進路面談などでも親身に寄り添ってくれる先生方がしっかりサポートしてくれます。

あなたと学校でお会いできるのを楽しみに待っています。一緒に楽しく学びましょう！

生徒会長 鈴木 龍之介（栗駒中学校）